妊娠期から子育て期全般を一貫して支援

市子育て世代包括支援センターでは、子どもが健やかに成長し、家族が安心して子育てできるよう、切れ目なく支援しています。いつ・どのような支援が受けられるかは「市のびのび子育て応援ガイド」をチェック。右の二次元コードからも確認できます。

子どもたちの笑顔を守る

かつては祖父母や隣近所に支えられていた子育ては、いつの間にか専ら親だけで行うように。専業主婦が家事全般を担った時代は終わり、家計を維持するための共働きが増加。子育ての負担や不安、孤立感を感じる家庭は少なくない。そんな中、行政だけでなく、NPOや子育てボランティアなど新たな担い手が連携しながら、子育て支援が進められている。

子育て支援の多様化

子育ての手助けをして欲しい人（利用会員）と、子育ての援助ができる人（サポート会員）をつないでいる「ファミリー・サポート・センター」。主に子育てを終えた世代がサポート会員となり、子どもの送迎や一時的な預かりなど、多忙な子育て家庭をサポートしている。利用会員に比べて、サポート会員の登録者数の伸び悩みが課題だ。当事業の運営を市から任されているのはNPO法人「子育てほっとねっと」。親子つどいの広場「ま～る」や「ほっぺ」の運営も担いながら、11月からはホームスタートという新たなサービスも開始させ、本市での子育て支援の一翼を担っている。

また、昨年の7月から子どもの放課後の居場所づくりや子どもの一時預かりに取り組んでいるのが、NPO法人「すくすく子育てやぎハウス」。昨年2月に設立されたばかりの新たな子育て支援の担い手だ。

孤立しがちな現代の子育ては、NPOやボランティアなど新たな担い手たちにより支えられている。多くの大人の温かい手に包まれながら守られる子どもの未来。今もどこかに、あなたが手を差し伸べてくれるのを待っている子どもがいる。

あなたにも出来ることがきっとある。子どもの未来をみんなで守ろう

養育里親

保護者が養育できない（いない）児童を自分の家庭に迎え入れ、愛情を込めて養育する“里親”を募集しています。

▶**養育期間**
児童の社会的自立が可能になるまで、または、保護者が児童を引き取れるようになるまで

▶**その他**　6日間の研修があります

▶**申し込み・問い合わせ**
○**県北児童相談所**
☎0287(36)1058

ファミサポ

保育園や学校、習い事へ子どもを送迎したり、預かったり。子育てを支援できる人（サポート会員）を募集中。

《サポート会員募集》

▶**対象**　積極的に子育て支援を行うことができる20歳以上の市民

▶**その他**　研修の受講が必要です（年2回、次回は2月実施予定）

▶**申し込み・問い合わせ**
○**市ファミリーサポートセンター**
☎0287(47)6252

ホームスタート

子育て中の孤独感や不安を軽減するためにボランティア（ホームビジター）が未就学児のいる家庭に寄り添います。

▶**内容**　1回2時間程度、4回訪問。お母さんの話を聞いたり、一緒に家事育児を行う

▶**対象**　子育て経験のある人で、8日間の研修を受けた人

▶**問い合わせ**
○**NPO法人**
子育てほっとねっと
☎090(9230)8755

子を遊ばせながら ママも交流

「ま～る」は、子育て中の家族と子どもたちのための広場。利用登録などは不要で、開設時間中は自由に出入りでき、お弁当を食べてもOKです。おじいちゃんやおばあちゃんが来ることもあります。他の地域から移り住んできた人の利用が多く、「もっと早くこの場所を知りたかった」と頻繁に利用してくれるようになった人もいらっしゃいます。以前、あるママから「私にとって第2の実家のようでした」と声をかけてもらったことがあり、本当に嬉しかったのを覚えています。

また、ママ同士の相談の場にもなっていて、〝夜寝てくれない〟とか〝ご飯を食べてくれない〟とか日常的な悩みを先輩ママに相談している様子をよく見かけますね。

「ま～る」を開設して6年。月3回の赤ちゃんの日はネンネアート※やベビーマッサージをするのですが、毎回とにかく大盛況。赤ちゃんのうちは外出を避けがちなママも気軽に来れるようで、非常に好評です。

とても真面目な人が多い最近のママたち。子育ての情報は溢れていますが、その通りにいかないことも多いので、悩むことも多いでしょう。「ま～る」には、私たちスタッフの他にも、同じような体験をした先輩ママたちもたくさんいます。子育て仲間が集う広場で、自分にあった子育てを一緒に探しましょう。

※眠る赤ちゃんの周囲を装飾し、アートのような写真を撮ること。

室内はとても広々としていて、子どもたちが駆け回っても安心。

今年4月にリニューアルオープンし、パン屋の跡地に移転。

つどいの広場　ま～る

▶**開設時間**
月～金曜　午前10時～午後3時
第一土曜　午前10時30分～午後1時
▶**ところ**　南郷屋2-145-10
▶**問い合わせ**　☎0287(36)6840
✉marumarutudoi@soleil.ocn.ne.jp

一人で抱え込まないで 色んな人の力を借りながら子育てを――

NPO法人 子育てほっとねっと つどいの広場「ま～る」担当
高根沢 明子 さん

―― 子どもたちの未来を　明るく照らすために ――

安心できる居場所を目指して

家庭と仕事の両立が難しかったり、夫婦間で意見の食い違いがあったりと、誰もが悩む子育て。孤立すると、心身に不調をきたすこともあります。やぎハウスは、保護者が病気などで子育てが難しい時に、市の委託で子どもを預かっています。また、放課後に小・中学生を送迎して、一緒に夕ご飯を食べたり、勉強したり、遊んだり。さらには、お風呂に入れ、洗濯をすることもあります。この場所は、みんなで食べ、学び、思いっきり遊びながら、くつろげる「子どもたちの居場所」。家のように安心できる場所を目指しています。ここでの食事の一部は、産直や食料品店などからご支援を受け、旬の食材を活用しながら提供しています。

オープンしてから1年。子どもたちに思いやりの気持ちや人との交流を楽しむ心が芽生え、成長を感じることも多くあります。互いの信頼が生まれつつあり、子どもたちも本音を話してくれるようになってきました。それにより、適切な対応が取れることもあります。

一昔前までは、地域のお節介なおじちゃん・おばちゃんが子育てを支えていました。かつては近所で解決できた悩みが、今は誰にも言えない心配事に。

子育て家庭を地域で見守り、声かけができれば、子育ての不安や葛藤も減らせるでしょう。そうした地域のつながりを取り戻すことが、子どもの未来を守ることに繋がると思います。

アットホームな雰囲気の室内。遊びを工夫しながら、みんなで楽しむ。

空き家に少しずつ手を加え、子どもたちの居場所「やぎハウス」に。

すくすく子育て　やぎハウス
▶**ところ**　松浦町121-42

〈事業の問い合わせは下記まで〉
▶**問い合わせ**
○**子ども・子育て総合センター**
☎0287(46)5537

孤立しがちな子育て家庭を いかに地域で支えられるか――

NPO法人
すくすく子育て やぎハウス
八木澤 秀（さとる） 理事長